

市民総参加のまちづくりの推進

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第5回の今日は、市民総参加のまちづくりの推進ということで、『市民主体のまちづくり活動費補助事業』についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 市民主体のまちづくり、ということで市民活動に対しての補助事業かと思いますが、具体的にはどのような事業になりますか。

市長： この補助事業は平成 25 年度から継続して実施しているもので、市民団体や NPO、事業者など様々な実施主体が、自主的に行う新たな取り組みについて補助を行っているものです。補助額は 10 万円、25 万円の 2 種類ありまして、昨年度から人口減少対策をテーマとしております。

アナ： なるほど、新たな取り組みに対する補助ですね。人口減少対策といいますと非常に大きなテーマのように感じますが。

市長： そうですね。大きなテーマですが、市が抱えている最も大きな課題である「人口減少・少子高齢化」については、行政だけの取り組みでは限界があると感じています。そこで、市民の皆さんのアイデアと力をお借りしながらオール三島で取り組んでいきたいと考えています。今年度は対象事業を絞り「移住・定住支援」「結婚支援」、さらには生涯にわたり活躍できるよう「健康寿命の延伸に関する事業」の3つが対象となります。

アナ： なるほど、しかし市民の皆さんにとっては、なかなか難しいテーマかもしれませんね。

市長： そうかも知れません。これは市としてもチャレンジとなります。しかし行政では思いつかないようなアイデアが出てくる可能性や、市民目線で考えることによって、市民ニーズが的確に把握された、より実情に合った素晴らしい提案があるのではないかと期待しています。

アナ： 確かに、市が行っているのではなく、自分と同じ立場の市民が自ら「人口減少対策に取り組んでいる」ということが見えると、同じ市民としても誇らしい感じがありますし、本当にオール三島で未来を創りあげるという機運が醸成されると思います。それでは、応募方法なども教えていただけますか。

市長： 応募は5月31日が締め切りで、担当する政策企画課までご提出をお願いします。その後、審査を行い市が補助する事業を決定します。市民活動の支援につきましては、他にも子育てに関する取り組みを支援する「子育て支援団体等活動費補助事業」、文化の振興に関する取り組みを支援する「三島の文化百花繚乱活動費補助事業」があり、広報みしま4月15日号にまとめて掲載しております。そちらにつ

いてもご覧いただき、ぜひ多くの応募をお願いしたいと思います。

アナ： 人口減少対策だけでなく、子育て支援、文化振興についてもそれぞれ補助事業があり、様々な分野で市民協働のまちづくりが展開されるということですね。

市長： そうですね。平成27年度に策定した「住むなら三島・総合戦略」では、今後三島市全体の人口が減少し、生産年齢人口も減少していくことが予想されていて、行政の力だけで三島市のまちづくりを担うには限界が出てきます。そこで、市民の皆さんが自ら企画立案した事業を実施していただくために市が支援することで、市民主体のまちづくりを進めていくことが重要だと考えています。

アナ： そうですね、これからのまちづくりの主役は市民が担っていかなければならないということですね。

市長： 「担う」というと責任が重く感じられると思いますので、無理をするのではなく、楽しみながら取り組んでいくことが、地域のためになる。そんな循環が生まれることを期待しています。その第一歩として、多くの皆さんから素晴らしい企画が応募されることを楽しみにしています。

アナ： 多くの応募があるといいですね。私も楽しみにしています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。